

姫路城の築城から現代までの全歴史

姫路城の縄張りから建築

姫路城にまつわる文学・話題を

現在の最高水準で収録



平成10年10月22日  
姫路市制100周年  
1989

第三回配本

市制一〇〇周年記念出版

姫路市史第十四巻

# 別編 姫路城

監修 神戸大学名誉教授

八木 哲浩

北村泰生 撮影

## 別編 姫路城 目次

### 一 姫路城の歴史

- 中世の姫路城
- 近世の姫路城
- 近世の姫路城
- 築城プランと基準線
- 近代の姫路城
- 明治の姫路城
- 姫路城周辺の変遷と整備

### 二 姫路城の構成

- 城郭史上の姫路
- 姫路城の縄張り
- 姫路城の建築
- 姫路の城下町(付 城下町復原図)

### 三 姫路城昭和の大修理

- 姫路城大修理
- 昭和築城(談話)
- 姫路城の番付と墨書

### 四 姫路城の文学・話題

- 姫路城の伝説と文学
- 姫路城と現代文芸作品
- 詩歌と姫路城
- 姫路城の瓦と文様
- 石垣の刻印と転用材
- 姫山原始林の植物

### 〔資料編〕

- 史料
- 姫路城所蔵の文書
- 姫路城所蔵の絵画
- 姫路城所蔵の刀剣
- 姫路城年表

### 〔付図(別箱入)〕

- 城郭図(平面図 立面図 断面図)
- 石垣修理絵図(解説図)

発行 姫路市

岡山大学教授 石田 善人

神戸大学名誉教授 八木 哲浩

兵庫県立歴史博物館学芸員 堀田 浩之

大手前女子大学教授 宮川 秀一

姫路短期大学助教授 松本 滋

名古屋工業大学教授 内藤 昌

東京大学名誉教授 内野 克

(財)文化財保存技術協会参事 加藤 得二

姫路市職員(元文化財建造物技術職員) 西村 吉一

松蔭女子学院大学教授 金井寅之助

姫路独協大学講師 沖塩 徹也

兵庫女子短期大学教授 川口 沙子

姫路城郭研究会会長 有本 隆

姫路市文化財保護審議委員 増田 重信

姫路市立科学館館長 家永 善文

関西学院大学教授 三浦 俊明

兵庫県立歴史博物館学芸課長 木村 重圭

(財)日本美術刀剣保存協会理事 小山 金波

# 別編「姫路城」 発刊にあたって

名古屋工業大学教授  
内藤 昌

「白鷺城」の雅称をもって天下に知られる姫路城は、まさに日本の名城として世界に喧伝されている。世界、特にヨーロッパや中国大陸を巡って各地の名城を訪ねても、いたずらに戦争に対する人間の業のなまなましさを感じられて、優雅さに欠け、何かうんざりするのが一般である。姫路城は、その点まことに魅力的で、日本人の知性・感性を体現する国宝として、世界に誇り得る名建築であること疑いない。

しかしながら、この姫路城に対する日本建築史・城郭史ないしは都市史の研究は、その解説書・写真集が無数といえる程多いにもかかわらず意外に少ない。僅かに橋本政次著『姫路城史』（上・中・下）の博覧と昭和三十九年の解体修理の成果等が際立つにすぎない。

本書は、『姫路市史』の編纂大作業の一環として計画され、姫路城跡全域にわたる改めての実測調査を基に全国に散在する史料を集大成し、日本建築史・城郭史・都市史上の評価をおこなない、その文化的価値を、改めて日本史上に問おうとするものである。したがって単なる解説・紹介をさげ、史料編に加えて実測図・復原図・模式図によって、姫路城の歴史的内実を多面的・総合的に分析考察している。



池田 輝政 画像  
(書写山円教寺蔵)

## 第十四巻購読申込について

●本のかたち A五判 約九五〇頁上製本 用紙は中性高質紙 表紙は別染(青色)の高級装丁用織物を使用。

●頒 価 五、五〇〇円 送料 五〇〇円

●申込方法 市史編集室へ電話で申し込んで下さい。

●発売時期 現在販売中

●頒布方法 直接受取、又は郵送のいずれかでお渡しします。

●申込先 〒670-0012 姫路市本町六八二五八 日本城郭研究センター内

姫路市立城内図書館 史料整理室 電話〇七九二八九四八八六

●続刊予定 第十二巻(近・現代史料編Ⅰ)

平成元年六月頃

## 姫路市史第十巻史料編近世Ⅰ 目次

- 1 姫路藩史料Ⅰ(池田氏〜三次松平氏時代)  
大名家譜 知行状・知行目録 地方知行・侍帳 慶長池田検地  
藩法Ⅰ(家中法) 藩法Ⅱ(領民法) 治世記録・藩領大概  
城下町絵図・城下大概 免状 財政・経済政策 寛延一揆
  - 2 姫路藩史料Ⅱ(酒井氏時代)  
老中奉書 藩主書状・書下 藩主系図・家譜 知行状・知行目録  
家臣 藩法 藩領大概・城下町絵図 財政・経済政策 寺社・祭祀  
文教 災害 明治維新
  - 3 幕府・諸藩史料  
林田・新宮藩領 龍野・丸亀藩領 幕府領・幕府役職大名領
- 付図(別箱入)
- 一、姫路城下町絵図 池田 時代(二六〇〇〜一七)
  - 二、姫路城下町絵図 一次榎原時代(二六四九〜六七)
  - 三、姫路城下町絵図 二次松平時代(二六六七〜八二)
  - 四、姫路城下町絵図 二次本多時代(二六八二〜一七〇四)
- ※ 頒価 六、三〇〇円

## 既 刊 案 内